



年頭所感

Tsuyama 2015



津山市長 宮地 昭 範

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

地方創生が叫ばれ、全国のまちが、まちおこしに^{しの}凌ぎを削る時代となりました。本市におきましても、地域経済の底上げと地域外需要の獲得により、元気な津山を創生していきたいと考えております。

今春には「つやま産業支援センター」を設置し、地域の経済発展と雇用創出、そして学術、研究や金融の各団体と連携を強化しながら、中小企業を中心に幅広いサポートを行っていきます。

また地域資源を再認識しながら、まちの魅力やイメージを情報発信するとともに市役所が丸となって津山を市外に売り込む「シティプロモーション」を展開していきます。

その一環として、1月15日から市外の人を対象にした「津山珈琲倶楽部」というファンクラブを立ち上げます。これは、インターネットやEメールを使い、津山の催し物や最近の出来事などについての情報を発信、アンケート調査や特産品プレゼントなどを通して、会員に津山の魅力を知ってもらい、広告塔となってPRしてもらおう取り組みです。

私自身も「シティセールスマン」となり、積極的に売り込んで、人と物、お金の好循環を生み出してまいりたいと考えておりますので、皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

本年も皆様にとりまして、幸多き一年でありますようお願い申し上げ、新年のご挨拶いたします。

津山市議会議長 川 端 恵 美 子

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、清々しく新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

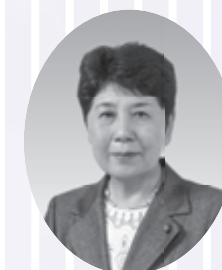
さて、津山市は、平成17年2月28日、1市3町1村が合併し、新たな歴史を刻み始めてから、間もなく10周年の節目を迎えます。

この10年、経済・雇用環境の著しい変化と、急速な人口減少・少子高齢化の進行を受け、本市を取り巻く状況が厳しさを増す中、第4次総合計画に掲げる新生津山市の目指す姿の実現に向けて、市民の皆様とともに懸命に^{いそ}勤しんでまいりました。

本年、これからの10年を展望し、平成28年度から平成37年度までを期間とした「津山市第5次総合計画」が策定されます。20年後、30年後の将来を見据え、誰もが住み続けたいと思う津山市であり続けるためには、これまで以上に市民と議会・行政が一体となり、政策実現を積極的に推進することが求められています。

市議会といたしましても、住民の皆様のご意見を市政に反映する使命を果たすため、今後も、皆様の貴重なお考えをお聞かせいただきながら、議会からの情報をわかりやすく発信し、開かれた議会を目指して全力を尽くしてまいりますので、本年も、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様にとって、実り多き年となりますことを心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新春座談会

「若者たちから見た津山」

今年、津山市の今後10年間の計画「第5次総合計画」策定の年です。市内の高等学校、工業高等学校、大学に通う生徒・学生にお集まりいただき、これからの津山について聞きました。

参加者

- 石井彩香 (美作大学)
- 小川勝也 (津山工業高等専門学校)
- 小島萌絵 (津山高等学校)
- 安井悠貴 (津山東高等学校)
- 松下友香 (津山商業高等学校)
- 平井雅基 (津山工業高等学校)
- 難波大輝 (美作高等学校)
- 織田帆風 (作陽高等学校)
- 宮地昭範 (津山市長)

